

令和7年度 ふるさと納税の活用状況（報告）

ご寄附いただいた皆さまへ

このたびは、ふるさと納税制度を活用して青森県五所川原市にご寄附をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまからお寄せいただいたふるさと納税につきまして、その使い道をご報告いたします。

令和7年度は、果樹雪害対策の支援事業や2歳児保育料無償化事業、五所川原立佞武多開催補助金、市浦コミュニティバスの運行等に活用し、基幹産業である農業の振興や子育て支援の拡充、五所川原立佞武多を基盤とする誘客促進、地域交通の維持確保を図りました。

これからも「市民ひとりひとりの『思い』で輝く五所川原」を目指してがんばってまいりますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和8年7月

青森県五所川原市長 佐々木 孝昌



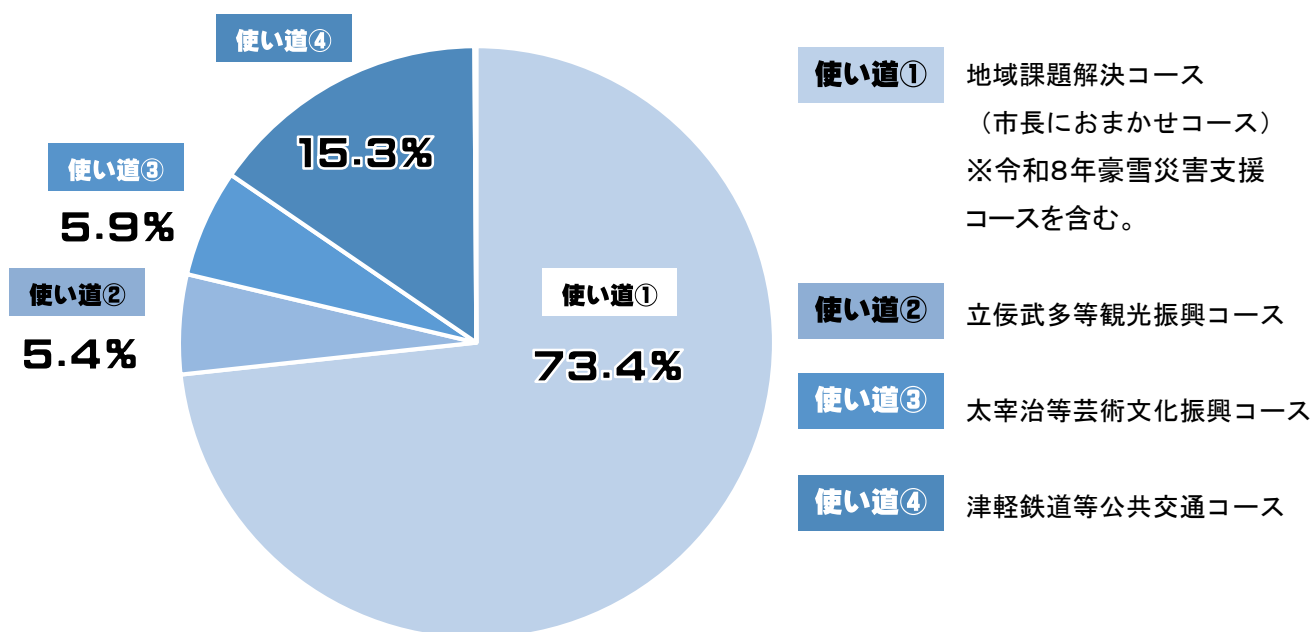
【お寄せいただいたふるさと納税について(令和7年度)】

寄附受入実績額

1,044,665,200円(38,651件)

ふるさと納税の使い道

皆様からのふるさと納税寄附金の使い道(コースごと)のご指定状況をグラフにすると、次のとおりです。



上記割合に基づき必要経費を差し引き、ふるさと納税寄附金を次のとおり基金に積み立てました。(詳細については、末尾の表をご参照ください。)

●五所川原市ふるさと基金 559,179,938円

(内訳)

・ 地域課題解決コース(市長におまかせ)	410,032,938円
・ 立佞武多等観光振興コース	30,358,000円
・ 太宰治等芸術文化振興コース	32,851,000円
・ 津軽鉄道等公共交通コース	85,938,000円

※令和8年青森県豪雪災害支援コース(受付期間:令和8年2月3日~令和8年3月31日)に充てられた寄附については、全額を年度内に市内小学校の除排雪費用として活用したことから、基金積立額から差し引いております。

【令和7年度 ふるさと納税活用事業実績】

積み立てていた基金を取り崩して、次のとおり活用いたしました。

1. 地域課題解決（市長におまかせ）コース

充当金額 198,784千円

●果樹雪害対策等支援事業

豪雪による樹園地の枝折れ、幹折れ等の雪害の復旧や雪害防止対策のため、苗木と支柱の購入費用の一部を支援しました。

●2歳児保育料無償化事業

子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、市内保育施設を利用する2歳児の保育料を支援しました。

●空き家対策事業

空き家による周辺への被害を防止するため、老朽化に伴うトタン剥離などの危険除去に係る業務委託費用や解体費用の一部に活用しました。

このほか、●芦野公園管理費 ●アワビ稚貝放流事業 ●郵便局窓口業務取扱事業 ●高齢者除雪等支援事業 ●こどもの歯科口腔保健対策強化事業 ●福祉タクシー事業 ●見守り移動販売支援補助金 ●加齢性難聴者補聴器購入費助成事業 ●低学年児童の受入れ事業 ●子どもフェスティバル開催事業 ●放課後児童健全育成事業 ●放課後児童クラブ延長利用料助成事業 ●子どもインフルエンザ予防接種費用助成事業 ●稲わら活用WIN-WINモデル事業 ●農業収益力向上支援事業 ●若手人材地元就職促進事業 ●料飲店組合イベント補助金 ●五所川原バル街補助金 ●観光協会運営補助金 ●立佞武多制作事業 ●立佞武多運行事業 ●立佞武多の館大規模改修事業 ●販売促進事務費 ●地域事業者支援事業 ●中学校通学バス運行事業 ●学校再編事業 ●小学校管理運営費 ●衛生用品サポート事業（小・中学校） ●フッ化物洗口推進事業（小学校・中学校） ●はたちを祝う集い開催事業 ●市民教養教室事業 ●みんなの教室事業 ●スポーツ普及活動事業 ●農業振興補助金 ●すくすく学校給食応援事業 に充当しました。

2. 立佞武多等観光振興コース

充当金額 43,492千円

●五所川原立佞武多開催補助金

令和7年度「五所川原立佞武多」の開催に係る費用を支援しました。

●桜まつり開催補助金

令和7年度「金木桜まつり」の開催に係る費用を支援しました。

3. 太宰治等芸術文化振興コース

充当金額 16,122千円

●太宰治記念館管理費

太宰治の生家でもある太宰治記念館「斜陽館」の修繕を行いました。

●図書購入事業・学校図書館サポート事業

子どもの自主的な読書活動の推進のため、図書館と学校図書館の図書の充実を図りました。

このほか、●津軽三味線全日本金木大会・仁太坊まつり開催事業 ●太宰治顕彰事業 ●旧平山家管理費 ●津軽三味線教室 ●図書館利用推進事業 に充当しました。

4. 津軽鉄道等公共交通コース

充当金額 10,789千円

●市浦コミュニティバス運行事業

「にこにこ温泉しうら」「市浦医科診療所」「市浦総合支所」と市浦各地区を結ぶ『しうらコミュニティにこにこバス』の運行委託費用に活用しました。

●鉄道軌道安全輸送設備等整備事業（設備工事・車両保存）

津軽鉄道が安全性の向上のために実施する設備整備等に係る費用を支援しました。

このほか、●津軽半島観光アテンダント観光企画及び情報発信事業 ●津軽鉄道活性化協議会負担金に充当しました。

【補足】使い道（コース）ごとの寄附実績額等について

使い道（コース）ごとの実績額等の詳細は、次のとおりです。

（単位：円）

使い道(コース名)	寄附実績額 A	経費額 B	令和8年豪雪災害 支援コース C	基金積立額 A-B-C
地域課題解決コース (市長におまかせコース) ※令和8年豪雪災害支援 コースを含む。	766,574,000	355,441,062	1,100,000	410,032,938
立佞武多等観光振興コース	56,603,000	26,245,000	0	30,358,000
太宰治等芸術文化振興コース	61,252,500	28,401,500	0	32,851,000
津軽鉄道等公共交通コース	160,235,700	74,297,700	0	85,938,000
(計)	1,044,665,200	484,385,262	1,100,000	559,179,938

※令和8年青森県豪雪災害支援コース（受付期間：令和8年2月3日～令和8年3月31日）に充てられた寄附については、全額を年度内に市内小学校の除排雪費用として活用したことから、基金積立額から差し引いております。